

磐梯山ジオパーク協議会事務局 定期便

磐梯山ジオパーク通信 Vol.3

■ 磐梯山ジオパーク通信Vol.3

9月半ばの磐梯山には秋の訪れを告げるようアキノキリンソウやリンドウ、ウメバチソウ、イワインチンなどの花が咲いていました。お花のあとは紅葉シーズンの到来です。そして、猪苗代町・磐梯町・北塩原村で育ったお米やお蕎麦、野菜など美味しい食材が続々と登場する季節となり食卓に並ぶのがとても楽しみです。

さて、10月はイベントが各地で開催されます。磐梯山ジオパークもイベントへ出展し活動や地域の魅力をPRしてきたいと思います。

■ 9月15日磐梯山ジオパーク再認定審査プログレスレポート提出

磐梯山ジオパーク再認定審査にあたり、プログレスレポートや自己評価表といった書類を9月15日に日本ジオパーク委員会へ提出しました。

運営委員の皆様には、部会への出席や書類確認のお願いなどご多忙の中ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

再認定審査の現地審査は11月20日・21日・22日のうちの2日間となる予定です。詳細な日程やご協力いただきたい内容などは決まり次第お知らせいたします。

引き続きお力添えいただきたくお願ひ致します。



unesco
Global Geoparks

Evaluation Document - A / 評価表-A
Self-Evaluation / 自己評価

Please read the INTRODUCTION, CHECKLIST and the EXPLANATORY NOTE TO THE CHECKLIST before completing this form:
https://en.unesco.org/sites/default/files/checklist_vf.pdf
https://en.unesco.org/sites/default/files/explanatory_notes_vf_october2020.pdf

この評価表を記入する前に必ずINTRODUCTION, CHECKLISTとEXPLANATORY NOTE TO THE CHECKLIST を読んでください：
https://en.unesco.org/sites/default/files/checklist_vf.pdf
https://en.unesco.org/sites/default/files/explanatory_notes_vf_october2020.pdf

Updated: October 2021 / 版本: 2021年10月

Identity / 基本情報

1. Name of the (a)UGGp
1. UGGp(申請地盤)の名稱
磐梯山ジオパーク

2. Name of the organization in charge of the (a)UGGp
2. UGGp(申請地盤)担当組織の名稱
磐梯山ジオパーク協議会

Country / 国名
日本

Telephone / 電話番号
0241-32-3180

E-mail (s) / メールアドレス
kaihaku-01@nifty.com; kaihaku.sakura.nifty.com

3. Address of the official management body of the (a)UGGp
3. UGGp(申請地盤)公式管理団体
磐梯山ジオパーク協議会

4. Size of territory and population (based on the most recently available figures)
4. 地盤の面積と人口(最新の数値に基づいたもの)

Size in km ² / 面積(km ²)	688.7
Population within the aUGGp / UGGp 人口 内 aUGGp 内 人口	18,097人 (2015年1月1日現在)

現地調査について

日程

11月20日（木）～11月22日（土）

3日間の内2日間

※審査員現地入りの日によって決まる予定です

現地審査員

○群馬県立自然史博物館
地学研究係（主幹、学芸員）

すがわら ひさなり

菅原 久誠 氏

○浅間山ジオパーク推進協議会事務局
専門員

ふるかわ ひろき

古川 広樹 氏

磐梯山ジオパーク通信 Vol. 3

■ 活動報告（8月半ば～9月半ばにかけて）

● ジオガイド認定試験

9月5日、6日にかけてジオガイド認定の認定試験を実施しました。

今回の認定試験では、現役のジオガイドの方々に審査員になっていただき、フィールドでのガイド活動時のアドバイスなどもいただきました。

試験結果はまだ出ておりませんが、新ジオガイドの誕生はもうすぐです！今後、ジオガイドに認定された皆さんがあつちよく磐梯山ジオパークでガイド活動ができるよう、事務局としてもサポート体制を整えていきたいと思います。



● 磐梯朝日国立公園 子どもパークレンジャー 国立公園アドベンチャー2025

環境省裏磐梯自然保護官事務所主催のイベント「磐梯朝日国立公園 子どもパークレンジャー 国立公園アドベンチャー2025 - クマになりきり？！大冒険 -」の運営に携わらせていただきました。クマの目線になって探勝路を歩き、裏磐梯の豊かな自然を感じ、活動を通してクマの生態や暮らしを楽しく学びました。

11名の参加があり、はじめは緊張した面持ちでしたが次第に場もなごみ、とても楽しい会となりました。



● 猪苗代中学校の森林環境学習を行いました

9月17日、18日の2日間を通して猪苗代中学校の森林環境学習を五色沼探勝路と大和ハウス工業さんの森「ラビット・ヒル」で実施しました。

「ラビット・ヒル」では、葉っぱや木の実などを少し採取させていただきました。学校へ戻りジオガイドさんと一緒に名前や特徴などを調べた後、葉っぱや木の実を貼り合わせて「葉っぱアート」作りを楽しみました。

■ お知らせ（ジオサイトに関するもの）

● 海洋研究開発機構JAMSTEC 高知コア研究所より桧原宿跡湖底遺跡だより第8号が届きました

磐梯山ジオパーク協議会と連携協定を結んでいる海洋研究開発機構JAMSTECの桧原宿跡学術調査チームから桧原宿跡湖底遺跡だよりが届きました。今回の調査では木椀の未完成品や木製品が出土したそうです！今後は調査結果報告や地域への還元に向けた作業を進めることがあります。どのような調査結果になるのか今から楽しみです。

桧原宿跡湖底遺跡だより
今年の調査報告とお知らせです。

第8号
(令和7年9月発行)
桧原宿跡学術調査チーム
TEL: 088-878-2203
HP: <https://hibarajuku.labby.jp>
Twitter: @hibarajuku

水中発掘調査の紹介（木村・中川）

最終年次にあたる今回の調査を、去る7月26日（土）から8月3日（日）にかけて実施しました。今回は昨年度に引き続き、桧原宿主要部を縦断する街道の東端部の確認を進めました。

湖の透明度は例年に比べて高く、昨年度は濁りのため目視することできなかった石材なども写真に収めることができました。一方で湖底の水温は10°C程度で、例年よりも5°C前後も低かったことが非常に印象的でした。

水中ではドレッジと呼ばれる器材を用い、あらかじめ計画した区画に沿って湖底堆積物を発掘し、確認された遺構を順次図化していきました。また、発掘作業では大量の木製品が出土しました。その多くは湖底に現地保存していますが、特徴的な一部の遺物は取り上げを行い、保存処理作業を進めています。

調査の目的であった、街道東端部をとらえることができたのかについては、実測図などの記録を精査しながら、慎重に検討を進めており、最終的なご報告には今暫く時間がかかります。

最後になりますが、4年間にわたる水中考古遺跡班の現地調査を、無事に終了することができました。ひとえに、地元の皆様のご協力あってのことです。ありがとうございました。調査は一区切りとなりますが、今後も成果報告や地域還元に向け、作業を進めていきます。

水中でのダイバーの様子。体感としてはもう少し透明度が高かった。

出土した木椀未成品。加工途上の「アラガタ」と呼ばれる状態。

地中レーダー探査の紹介（山崎）

9月初旬の調査では、湖底地形の様子をより詳しく把握するため、地中レーダー探査を実施する予定です。

調査では、ゴムボート上に置いた電磁波発生装置から水中に電磁波を発射して、反射してきた電磁波を同じくゴムボート上に置いたアンテナで受信します。

ゴムボートと餈（はしけ）を使った調査のイメージ

調査で取得可能でデータのイメージ。図には「水中」、「埋没物」、「水底」、「長さ (m)」、「縦軸 (m)」が示されている。

受信した電磁波の強弱によって地下の構造がイメージ化できます。この調査方法は道路の下の水道管を調べる方法として知られ、桧原湖水中遺跡でも湖水のさらに下の地中の遺物を検出できる可能性があります。

※図はフェデューカほか（2022）を引用

本研究は文部科学省科研費事業・基盤研究A「桧原湖水中遺跡と水没をもたらした火山災害の全容解明」〔代表：谷川亘（海洋研究開発機構）〕をもとにした学術調査の一環として実施します。

科研費
KAKENHI

桧原宿跡湖底遺跡調査について

1888年の磐梯山噴火によって桧原湖に沈んでしまった桧原集落の水中遺跡の調査を通じ、江戸・明治の産業・文化・物流の理解と、山体崩壊による災害メカニズム、せき止め湖の形成過程、水没による高台移転（避難）の過程という自然災害を総合的に理解するため、2022年より調査が行われています。今年度は調査の最終年となっています。

桧原宿跡・桧原湖湖底遺跡研究ホームページ：<https://hibarajuku.labby.jp/>

■ お知らせ（講演会やイベント）

●10月3日講演会 雄国沼の現状とこれから～シカ侵入について～

現在、磐梯山周辺や雄国沼でニホンジカの増加が問題となっていることから、10月3日に裏磐梯エコツーリズム協会と裏磐梯ビジターセンター自然体験活動運営協議会が主体となり「雄国沼の現状とこれから」というテーマで講演会を開催します。

雄国沼の魅力の話をはじめ、シカの侵入によってどのような状態に陥っているのか、そして今後の対策について3部構成で講演が行われます。

今後、雄国沼湿原や磐梯山周辺の森はどうなってしまうのか、とても気になるところです。ぜひ、ご参加ください。

裏磐梯ビジターセンターホームページ：<https://urabandai-vc.jp/news/54548/>

●10月4日イベント 福島会津満喫フェスタin新宿御苑2025

「福島会津満喫フェスタin新宿御苑2025 磐梯朝日国立公園写真展 磐梯・吾妻・安達太良の活火山によって形成された大地と暮らし」が9月23日から新宿御苑で開催されています。

磐梯山ジオパーク協議会は『特別協力』という形で関わらせていただき、磐梯山ジオパーク活動の紹介パネル展示や特別企画として新宿御苑のレストランUnder the Treeさんで福島県産食材を使用した「磐梯山ジオパークカレー」が9月23日～10月26日の約1か月間提供されます。10月4日にはジオパークから職員が出向き磐梯山ジオパークや3町村の魅力をPRして参ります。

●10月5日イベント 曽原湖絶景ヨガ

磐梯山ジオパーク協議会主催のイベント『曾原湖絶景ヨガ』を開催します。

湖畔のホテル・クオレさんとRetreat Tabi Yogaの須田茉衣子さんとのスペシャルコラボイベントで、曾原湖の風を感じながら、「ヨガのレッスン」と「ジオパークの自然解説」、昼食には地元Bandiaさんの「ハーブ薫る特製ブランチ」とヒロのお菓子屋さんの「スイーツ」を食べて頂く、五感で磐梯山ジオパークの魅力を味わう企画となっています。

参加者の皆さんに楽しんでいただけるよう頑張ります。

■ お知らせ（イベント）

●10月12日イベント 諸橋近代美術館 おきにいりマルシェ出展

北塩原村にある諸橋近代美術館で『おきにいりマルシェ』が開催されます。

手作りアクセサリーや小物、ヨガやお菓子など、たくさんのお店が並び、磐梯山ジオパークもブースを展開し「手のひらに乗る磐梯山ジオラマ作り」やジオガイドと庭園を歩く「おしゃべりジオ散歩」を実施します。
ぜひお立ち寄りください。



おきにいりマルシェ関連ページ<https://na-turi.wixsite.com/okiniiri>

●10月19日イベント ロードスター東北ミーティングin磐梯町への出展

磐梯町で開催されるロードスター東北ミーティングには200台以上のマツダ・ロードスターとそのオーナー様が集結します！

磐梯山ジオパークもこちらのイベントに関わらせていただき、参加者向けのジオツアーや手のひらに乗る磐梯山ジオラマ作りとジオパーク関連グッズ販売を行う予定です。

皆様に磐梯山麓をより楽しく運転していただくため、磐梯山ジオパークや3町村の魅力を沢山お伝えしたいと思います。



●10月19日イベント 日帰り教育事業スマイルばんせいへの出展

国立磐梯青少年交流の家主催のイベント「スマイルばんせい」へ磐梯山ジオパークもブース展開し、手のひらに乗る磐梯山ジオラマ作りや巨大サイコロパズルなどを実施します。

当日は磐梯山ジオパークカレーの提供も予定されています。ご来場の皆様に楽しんでいただけるよう、笑顔で体験ブースを盛り上げていきたいと思います。



国立磐梯青少年交流の家ホームページ：<https://bandai.niye.go.jp/news/3735/>

■ お知らせ（イベント）

●10月25日・26日イベント 第6回ふくしま物産展新宿

「福島マルシェ」ふくしま物産展新宿実行委員会が主催するイベント『第6回ふくしま物産展新宿』が開催されます。

今年もホテルリステル新宿『レストランファムネット』さんと新宿御苑インフォメーションセンター内カフェ『NATIONAL PARKS CAFE Under the Tree』さんで磐梯山ジオパークカレーを提供してくださいます。

磐梯山ジオパーク協議会も出展し、磐梯山ジオパークはもちろん福島県の魅力を発信します。

ホテルリステル新宿Instagram

<https://www.instagram.com/p/DOhsK3BEBj9/>



■ ジオサイト紹介 A桧原湖北岸エリア2：大山祇神社 歴史・文化サイト



桧原集落は15世紀末頃から旧米沢街道の宿場町として栄え、検断、問屋、住家などが軒を連ね、神社は桧原集落の北端にありました。

明治21年(1888)の噴火の岩なだれにより桧原川がせき止められ、桧原集落が水没し、この際、集落は移転しましたが、高台にあった神社は残されました。渴水時には水没した大山祇神社の参道が鳥居とともに湖底から姿を現します。

■ 用語集

ニホンジカ

ニホンジカは草食で古くから日本に生息しています。天敵であったニホンオオカミの絶滅やハンターの減少など様々な要因により、急激に生息数が増加しています。食害により次世代の森が育たなくなったり、土砂災害を引き起こす要因となったりと、全国で生態系や農林業に深刻な影響を与えています。

環境省ニホンジカ関連ページ

https://www.env.go.jp/nature/choju/docs/docs5/imatora_fin.pdf

磐梯山ジオパーク協議会は猪苗代町、磐梯町、北塩原村が中心となり26の民間団体と行政機関が運営に携わり活動しています。

「大地と人と自然の物語」という大地とのつながりをテーマに教育・保全・地域振興などにかかわる活動を行っています。

旧米沢街道

現在の会津若松と米沢を結ぶ街道で、桧原は戦国時代、蘆名氏と伊達氏との攻防の舞台となりました。その後の蒲生・上杉・保科の時代でも政治や経済などの面で重要な街道でした。

検断

宿場の治安維持や、交流・流通の管理を行う機関。

磐梯山ジオパーク協議会事務局

〒969-2701

福島県耶麻郡北塩原村大字桧原字剣ヶ峯1093
(裏磐梯合同庁舎内)

TEL/FAX : 0241-32-3180

Eメール(代表) : bandaisan.geo@gmail.com